

## 常山知子議員の一般質問

### 皆野町の学校給食について

(質問) 昭和29年11月、日野沢小学校から始まった学校給食は、昭和55年、センター方式になるまで各学校で給食がつけられていました。

皆野町総合振興計画の中で、学校給食センターについて、昭和55年に建設され、施設の老朽化が進み施設・設備の充実、また、ウエットシステムからドライシステムへの転換が述べられています。

町として給食センターの施設の改築・改修等の考えはありますか。また、食育・地産地消についてどう考えていますか。

(答 弁) 給食センターの改築・改修については、不都合が予想される場合、その都度心配される箇所を修理・修繕してきました。

当面は、従来どおり、早めに修繕をやり、具体的な建て替え等は考えていません。

ドライシステムへの移行は、建て替え時期に合わせて検討すべきと考えています。

(再質問) 深谷市が実施している自校方式給食は、コスト削減でなく子どもにはお金をかけるといふ姿勢でやっている。

町の学校の先生も、将来をにう子どもにより給食を、食の大切さを教え生きる力をつけさせたい。こうした点から自校方式が子どもたちにとって一番だ。といっています。

皆野町でも自校方式は考えられませんか。

(答 弁) 皆野町の児童の減少、将来をみても子どもが増えていくことは低い。この町ではこれからもセンター方式でやっていく。

(再質問) 食の安全について、食品添加物や放射能汚染など心配されています。

地産地消を進め、少しでも安全なもの子どもたちに食べてもらいたい。

皆野産野菜などの利用を学校、町、農協と協力を密にして進めてほしい。

(答 弁) 農家の方々にもよりいっそう努力していただき、可能な限り皆野産のものを給食に使用していきたい。

## 「子ども子育て会議」

について

(質問) 昨年8月に成立した、子ども子育て関連3法(子ども子育て支援法・認定子ども園法・関連法律修正法)等に基づき、市町村において子ども子育て会議の設置が義務付けられました。

子ども子育て会議では、条例や規則基準作りに着手することになると予測されます。この会議には、利用者・事業者の意見も十分反映させていくべきだと思いますが、町はどう考えますか。

(答 弁) 地方版の子ども子育て会議について、目的にそった適任者を選任願ひ、充実した審議がいただけるよう努めていきたいとおもいます。

## 解説

### ウエットシステムとドライシステム

厨房の作業環境のことで、「ウエット」は床に水をまき常に床がぬれている状態。「ドライ」は常に床を乾かしておく。

### 特定継続世帯

後期高齢者制度に関連し、国保に残った人の国保税の平等割が最初の5年間2分の1軽減されます。(特定世帯) さらに6年目以降3年間は4分の1軽減されることになりました。

## 新米議員のひとりごと

常山 知子



6月議会は一日で終了、急いで議会報告を書き、夫と夫の妹たちと新潟へ。越後は米どころ、どこまでも続く田んぼに苗がゆれています。

夫の母親は現在92才、老健施設に入所していますが、一ヶ月ほど施設をでることに。弟の所にいる間に会いに行こうと話がまとまりました。

元気そうでした、夫の顔を見て目を丸くして驚き、うれしそうでしたが、名前は思い出しません。みんなと一緒に食事をしました。食欲旺盛です。笹にくるまれた草もちを食べ、チマキもおいしいと：。「食べさせていないようだな」と世話をしている弟。みんなと食べるから食欲が出るし、固いものでもしつかり噛んで食べています。

老いると出されるものが流動食に近いものになってしまう傾向がありますが、歯があれば普通のもので食べられるのではないかと。義母をみていて思いました。でも、そこには温かく世話をし、見守る人がいなければなりません。

人間、老いても食べることは忘れません。生れた時からずうつと毎日毎日生きるために「食」はあります。

その食に対する私の『豊かな学校給食を、この町でも』という思い、行政に届いたでしょうか。